

那覇空港滑走路増設事業の現状及び今後の取組方針

【要旨】

- 那覇空港滑走路増設事業では現在、護岸及び埋立を中心に工事を進めています。
- 護岸の9割以上が概成し、滑走路本体部分の埋立工事が本格化しています。
- 平成29年度からは、埋立が完了した工区から順次、舗装工事に着手する予定であり、今後、一部工区の発注手続きを開始する予定としています。今後の那覇空港滑走路増設事業の舗装工事についても、新たに地元企業の受注機会拡大に係る取り組みを実施することとします。

1. 工事発注状況

- ・ 平成25～28年度にかけて、計94件の工事を発注済。
- ・ 護岸工事、埋立工事をはじめ、通水路部、進入灯橋梁工事、アンダーパス等の工事を発注済。

2. 事業の進捗状況

- ・ 全体延長約8.5kmの護岸のうち、約8.2km（延長ベースで約96%）が概成。
- ・ 全体土量約1,000万m³の埋立のうち、約18%（約176万m³）の土砂を投入済。

3. 今後の地元企業の受注機会確保・拡大の取組

- ・ 今後の那覇空港滑走路増設事業の舗装工事においては、地元企業の受注機会確保・拡大に係る取り組みとして、新たに以下の取り組みを実施。
 - WTO案件（7.4億円以上）の場合にも、多くの地元企業が参入可能となるよう、JV構成員の参加要件を緩和
 - 3社JVにおける構成員の最低出資比率を標準的な「20%以上」から「25%以上」に引き上げ



那覇空港滑走路増設事業の進捗状況



那覇空港の現況写真 (平成29年1月25日撮影)

【問い合わせ先】

内閣府 沖縄総合事務局 開発建設部 空港整備課

(担当者) 細見、大城

TEL : 098-866-1921 FAX : 098-861-9916

① これまで実施してきた沖縄県内企業の受注機会拡大の取組を、引き続き実施

1. 沖縄県内企業が属する発注等級(Bランク、Cランク)に対する工事規模の拡大

◆工事規模による発注等級(ランク)の標準区分(港湾空港工事)

※現行のWTO基準額 7.4億円以上

※ 空港等舗装工事についてはこれまでどおりとする

工種	等級	工事規模(予定価格) <H23年度～現行>※沖縄特例	工事規模(予定価格) <本事業での適用案>
港湾土木 空港等土木 港湾等しゅんせつ	A	5.0億円以上	—
	B	9,000万円以上 5.0億円未満	1.8億円以上 7.4億円未満
	C	9,000万円未満	1.8億円未満

工種	等級	工事規模(予定価格)
空港等 舗装	A	1.2億円以上
	B	5,000万円以上 1.2億円未満
	C	5,000万円未満

2. WTO案件(7.4億円以上)の場合にも、多くの地元企業が参加可能となるよう、JV構成員の参加要件の緩和

	本省通達	沖縄運用			
		(難易度Ⅲ以下)		(難易度Ⅳ以上)	
		単体又はJVの代表者	JVの構成員	単体又はJVの代表者	JVの構成員
空港等土木工事	1,250点	1,150点	950点	1,250点	950点
港湾土木工事	1,150点	1,050点	900点	1,150点	900点
港湾等しゅんせつ工事	950点	850点	750点	950点	750点
空港等舗装工事	1,050点	950点	800点	1,050点	800点
港湾鋼構造物工事	1,100点	本省通達どおりとする。			

※ 空港等舗装工事については新たに要件を緩和

② 舗装工事におけるJV構成員の最低出資比率の引き上げ

3社JVにおける構成員の最低出資比率を、標準的な「20%以上」から「25%以上」に引き上げる。

※ 滑走路増設事業の埋立工事については既に適用済み。

上記のほか、地元企業の参加機会の確保・拡大の観点から、JV構成員の施工実績要件については、可能な限り緩和する。